



## 「きたコン」を持ち帰って活用しましょう!

新年度が始まり、新1年生にも1人1台端末「きたコン」が貸与され始めています。子どもたちには、大切に扱いながらも、どんどん使いこなしてほしいものです。

さて、「きたコン」の大きな特徴のひとつに、「家庭への持ち帰り」があります。持ち帰ることで、次のような効果が期待できます。

### ▶学習の機会を増やす

授業の続きを家庭でもできるので、児童・生徒が学習に取り組む機会が増えます。「きたコン」で授業の続きや課題の提出をしたり、ドリルで苦手な部分を学習したり、自主学習に活用したり、家庭学習の定着にもつながります。

### ▶ICTリテラシー（ICTを活用する力）を向上させる

児童・生徒が「きたコン」を日常的に使用するので、ICT（情報通信技術）に対する理解や操作性が向上します。このようなICTリテラシーは、これから問題を解決するときに必要な能力です。

### ▶授業を改善する

教師は「きたコン」を通して、課題や教材の配信、課題の受取りなどができるようになります。学習内容の解説動画を事前に配信して学校では話合いの時間を多くするなど、授業の流れにも変化が出てきています。休校や学年・学級閉鎖などの緊急時はオンライン授業もできます。

### ▶教育格差をなくす

「きたコン」を持ち帰ることで、全ての児童・生徒が平等な学習機会を得ることができるようになります。

これらの目的を達成することで、児童・生徒一人一人の学習環境や学習機会が向上し、教育の質の向上につながります。



※「きたコン」の持ち帰りについては、学校ごとに約束が異なる場合があります。

## きたちゃんコンちゃん

by Toshi



お願い

## 「きたコン」について、ご家庭でもお話をください

少し固い話になりますが、児童・生徒には、「きたコン」を使う上で、次のような適切な取り扱いや管理をしてもらうことになります。ぜひご家庭でも話題にしていただくようにお願いします。

▶**損害や紛失の防止**：「きたコン」が故障したり損傷したりしないよう、適切な取り扱いを心掛けます。

▶**セキュリティの確保**：パスワードや認証情報の管理に注意を払います。

▶**ウェブサイトの閲覧**：不適切なコンテンツや情報を閲覧しないようにします。

▶**故障や問題の報告**：「きたコン」に異常があったり故障したりした場合には、すぐに担任に報告します。

これらのことを守ろうとすることは、情報活用能力だけでなく、自己管理能力や情報リテラシーの向上にもつながります。